



教育目標：やさしく かしこく たくましく

❖ 校外学習(4年生)

12月4日(木)に4年生がエコパークあぼしに校外学習に行きました。ごみ処理施設と一体的に建設されたこの施設は正式名を「姫路市立網干環境楽習センター」といい、姫路市のごみ問題について体験的に学ぶことができる場所です。

日々排出されるごみの安全・安定的処理と循環型社会形成の拠点として、平成22年4月1日に『エコパークあぼし』がオープンしました。『エコパークあぼし』では、積極的なバイオマス発電を導入したごみ焼却施設、ごみのリサイクルを図る再資源化施設のほか、ごみ・環境問題を楽しく学び、体験することができる環境楽習センターを整備しており、これらの施設を「めぐりルート」というコースで回遊しながら見学できます。(施設HPより)

途切れることなく収集車によって搬入されるごみをためるピット、その中で動く巨大なクレーン、不燃物を分別するコンベア、制御室などを写真や映像ではなく、自分の目で見ることができ、ごみ問題を自分事として体感することができました。今回は立ち寄ることができませんでしたが、施設内には木工やガラスの工作体験ができる工房や、敷地内には焼却時の排熱を利用した温浴施設やサウナ、温水プールなども併設されています。ご家庭でも訪れてみられてはいかがでしょうか。



次々にごみが運ばれてくるよ！



大きなクレーンでごみを運んでいます



〇×クイズに挑戦！



ごみ処理の歴史も学べます

❖ 車いすバスケットボール体験(4年生)

12月10日(水)に4年生が車いすバスケットボール体験を行いました。4年生は総合的な学習の時間を使って福祉について学んでおり、これまでに車いす体験やアイマスク体験、手話教室や点字教室など様々な体験活動に取り組んできました。

今回はひょうごパラスポーツ指導者協議会より実際の車いすバスケットボール経験者の方々にお越しいただき、乗り方や特性、競技用車いすと通常の車いすの違いなどを説明していただきました。その後は実際に競技用車いすに乗り、動かし方を練習した後、チームに分かれて車いすバスケットボールの試合を行いました。

通常の車いすに比べ、車輪がかなりネガティブキャンバーのため、小回りが利きます。また前後に車輪が付き、転倒しにくくなっています。また、競技中車いす同士がぶつかることが多いので、バンパーがついているのも特徴です。まず乗りこなすまでが難しいのですが、子どもたちは結構器用に車いすを操り、大歓声の応援の中ゲームに熱中していました。



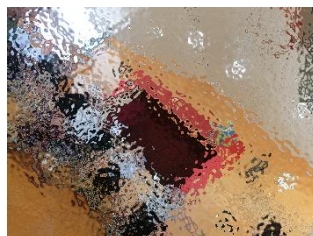
左右の車輪への力加減が難しい！



ドリブルはもっと難しい！



試合開始！



シュート！